

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成27年4月10日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：米谷長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただ今から原子力規制庁の定例会見を始めたいと思います。

まず初めに、米谷総務課長の方から報告事項がございます。

○米谷総務課長 今日はこちらから5点の報告があります。

1点目、原子力規制委員会について。来週の水曜日4月15日、10時半から第3回原子力規制委員会を開催します。議題は追って連絡します。

2点目、検討チームの会合、会見などについてでございます。

本日4月10日は、13時半から原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第218回）を行っています。石渡委員が出席をしています。東京電力・柏崎刈羽発電所、電源開発・大間発電所を対象といたしまして、事業者から説明を受けております。

東京電力・柏崎刈羽発電所につきましては、敷地周辺陸域の地質・地質構造について、大間発電所につきましては、下北半島西部の後期更新世以降の地震地殻変動についてということで説明を受けております。

4月13日月曜日は、13時半から核セキュリティに関する検討会（第4回）を開催します。IPPASのミッション受入れの結果の報告をするということでございます。田中知委員が出席の予定でございます。本会議は、具体的な核物質防護措置の状況等を検討会の場に提示するなど、行政機関の保有する情報の公開に関する法律第5条に定める不開示情報を扱うため、非公開とさせていただきます。

4月14日火曜日は、13時半からプラント安全技術検討会（第2回）を開催します。この間、安全研究に係る評価の実施を行う技術評価検討会を幾つか開いておりますが、その一つでございます。この会合の場所は、東京都千代田区霞が関の外の会場となっておりますので、御注意願います。

4月14日火曜日、14時半から定例の規制庁ブリーフィングを行います。

4月15日水曜日は、13時半からシビアアクシデント技術検討会の第2回を開催します。これも安全研究の評価に係る技術検討会でございます。この会合の場所につきましても、東京都千代田区霞が関の外の会場となっておりますので、御注意願います。

4月15日水曜日、14時半から原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第219回）を開催します。石渡委員が出席の予定でございます。事業者については、まだどこ

を呼ぶか未定でございます。

同じく4月15日水曜日、14時半から田中委員長の定例の記者会見を行う予定です。

4月16日木曜日は、15時から廃炉等に伴う放射性廃棄物の規制に関する検討チーム（第4回）を開催します。田中知委員が出席の予定でございます。

廃棄物埋設施設に係る設計要求と管理要求についてということで、規制庁より考え方を説明して御審議を頂くということを予定しております。また、我が国の地質環境についてということで、産業技術総合研究所の山元総括研究主幹より説明を頂くことも予定しております。

この会合の場所は、東京都港区新橋の外の会場となっておりますので、御注意願います。

4月17日金曜日は、14時半から定例の規制庁ブリーフィングを行います。

3点目は、川内原子力発電所1号機の使用前検査の性能検査の開始についてということでございます。先月30日より九州電力株式会社から川内原子力発電所第1号機において使用前検査を行ってきておりますが、法令でいう発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になったときにかかる使用前検査、いわゆる3号検査を来週木曜日16日から開始する見通しとなりましたので、お知らせをいたします。

本件については、皆様に本日の夕方にお知らせを予定しておりますが、取材を希望の方は、来週火曜日14日の12時までに九州電力宛てにお申込みください。

これは、公開する設備は、原子炉格納容器内の水素濃度を低減するための設備のうち、水素を燃焼させ低減させるという設備です。今週4月7日に1号検査を実施して、来週の木曜日に3号検査を実施しようというものでございます。

そして、この設備について、工事計画に記載されている電熱器の電気容量が工事計画どおりであるということを確認する性能検査を行います。具体的には、電熱器の電気抵抗を計測し、測定した値を計算式により電熱器の電気容量を確認するというもので、検査官が電気抵抗の測定を検査しているところを確認頂けるということを予定しております。

4点目、委員の視察について。

既に皆様には昨日にお知らせをしておりますが、来週の金曜日17日に北陸電力株式会社志賀原子力発電所の敷地内破砕帯調査の一環として、石渡委員他有識者が現地調査を行います。取材を希望の方は、来週火曜日14日17時までに北陸電力宛てにお申込みください。

5点目、要人面会について。

来週月曜日13日の13時に、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）の下村次長が田中委員長、石渡委員、田中知委員を表敬訪問されます。そして、翌14日火曜日16時に、IAEAの天野事務局長が田中委員長を表敬訪問されます。

私からは以上であります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けしたいと思います。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。アマノさんから。

○記者 産経新聞、アマノでございます。

1つ確認なんですけれども、昨日の段階で、伊方原発3号機の審査会合は終了したという認識でよろしいのでしょうか。

○米谷総務課長 そこは、もうこれ以上開くことがないということはまだ言い切れないということだということで担当課から聞いております。

○記者 現段階では、ないということで、今後、その審査書案が作成されるかと思うんですけれども、もちろん補正書を受けた上でということ。それで、この審査書案の作成というのは、前例どおり規制委員会の定例会の議題にかけずに、これは規制庁の判断で粛々と進めていくという形でよろしいんですか。

○米谷総務課長 すいません、何をかけないということでしょう。

○記者 審査書案を作成するかどうかに関する議題は、これは川内原発のときはかけているんですけれども、高浜のときは確かかけなかった記憶があるんですが、これは伊方も高浜と同様にかけないという方向でいいですか。

○米谷総務課長 今のところ予定をしておりません。先程確認したのは、最後、許認可をするときには委員会でかけるということになりますが、その前段階では特段予定をしておりません。

○記者 そうすると、審査書案が既に作成し終わった段階で、ようやく我々としてはそれが見れるという、そういう形でいいわけですか。

○米谷総務課長 基本的にはそうなりますね。

○記者 分かりました。

あと、パブコメについても、これは高浜のときもちょっと微妙な判断だったんですけれども、伊方はこれはやるともやらないとも決めていないということですか。今後の形としては。

○米谷総務課長 おっしゃるように、高浜のときには、委員会で一回議論をしたと思います。高浜についてもパブコメをするのかどうかということで。そのときの議論を踏まえて、伊方が、出てくれればですけれども、どうするのかということになると思います。

○記者 あと、1F（東京電力福島第一原子力発電所）の方で2点お伺いしたいんですけれども、昨日、規制庁の方からも広報を頂きましたけれども、1号機のタービン建屋近くのサブドレンの水位が建屋のボイラー室の水位よりも低下したということなんですけど、ちょっとこの辺の重大性というのが私自身余り理解できなくて、この辺、何か、ある意味法令報告に当たるのか、この辺の今後の影響とか、その辺はあるんですか。

○記者 分かりました。

○司会 他、いらっしゃいますでしょうか。モトキさん、どうぞ。

○記者 NHK、モトキです。

来週の火曜日なんですけれども、高浜原発をめぐって住民側の申し立てている運転停止の仮処分について判断が示されると思うんですが、これ、仮に運転停止の決定が出た場合というのは、その後のこちらの審査とか、工認の審査であったり、使用前検査、これについては何か影響というか、むしろこちらがどう進めていくかという判断、考え方だと思っんですけれども、そのあたり、どのように考えていらっしゃいますか。

○米谷総務課長 裁判のことでありますし、どういう判断が下されるかも分かりませんが、今の時点で予断をもって物を申すことは避けておきたいというふうに思っております。ただ、どんな判断が出ようとも、基本的に私どもの行政処分が訴えられているわけではございませんので、私どもの行政の手続の方に基本的に余り影響が出るものではないというふうに認識をしております。

○司会 他、よろしいでしょうか。

それでは、本日の会見、これで終わりにしたいと思います。御苦労さまでした。

—了—